

奈良県の労働市場の動き（令和2年12月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は1.07倍で、前月より0.04ポイント下回りました。
- 全国は1.06倍で、奈良県は0.01ポイント上回りました。
- 近畿ブロックは1.01倍で、奈良県は0.06ポイント上回りました。
- 有効求人数（季節調整値）は20,514人で、前月より3.1%の減少となり3ヶ月ぶりの減少となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は19,235人で、前月より1.3%の増加となり2ヶ月連続の増加となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は1.82倍でした。前月より0.24ポイント下回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は7,282人、前月より7.7%の減少となりました。

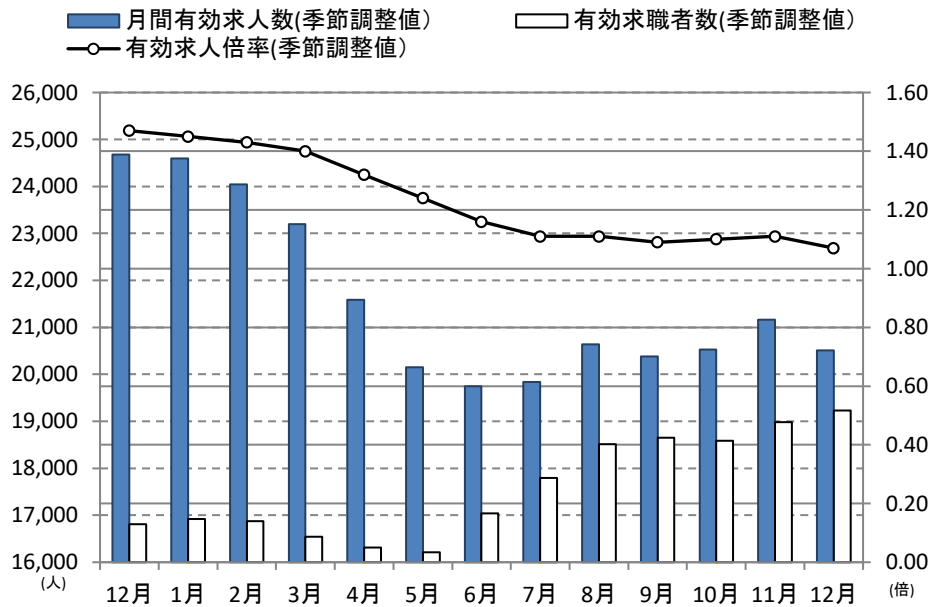
主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「サービス業（他に分類されないもの）」を除く業種で減少しました。

建設業（前年同月比8.7%減）、
 製造業（同34.5%減）、
 運輸業、郵便業（同17.7%減）、
 卸売業、小売業（同29.2%減）、
 宿泊業、飲食サービス業（同31.6%減）、
 医療、福祉（同20.9%減）、
 サービス業（他に分類されないもの）（同13.7%増）

- 新規求人数（原数値）6,667人のうちパート求人は3,156人でした。パート求人の比率は47.3%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、3,999人で前月より4.1%の増加となりました。
- 雇用保険受給資格決定件数は863件でした。前年同月比で20.0%の増加となりました。
※雇用保険受給資格決定件数は速報値であり、修正があり得ます。
- 雇用保険受給者実人員は4,427人でした。前年同月比で20.6%の増加となりました。

（注）求人倍率（季節調整値）については、季節調整替えが行われ、令和元年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）により改訂。

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き（パートを含む）



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況（常用・パートを含む）

